

参考資料 2 用語説明

	語句	説明
あ	愛・地球博記念公園 (モリコロパーク)	2005年日本国際博覧会(愛・地球博)長久手会場の跡地に2006年7月15日に開設された公園。
	あぐりん村(愛称)	地元食材を使った「ふるさと薬膳レストラン凜」、焼きたてパンが楽しめる「あぐりん村パン工房」、新鮮な地物が買える「農産物直売所 市・ござらっせ」の3つの施設が入った長久手田園バレー事業の核となる施設。
	沿道サービス	幹線道路沿いに立地した施設における道路を利用した商業サービス。
	温室効果ガス	大気中の二酸化炭素やメタン等のガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあり、これらのガスの総称。
か	環境配慮型まちづくり	積極的な緑化の推進や低炭素なまちを形成するための環境に配慮したまちづくり。
	幹線道路	道路網のうちでも主要な骨格をなし、都市に出入りする交通および都市の住宅地、工業地、業務地等の相互間の交通を主として受け持つ道路。(県道力石名古屋線等)。
	基準年次	計画の基礎となる年次。通常、計画策定時において様々な実績値を網羅的に把握できる直近の年次としている。
	既成市街地	都市において既に市街地が形成されている区域。
	協働	複数の主体が、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動することをいう。コラボレーション、パートナーシップとも呼ばれる。
	広域交通基盤	広域な交通網を形成する高速道路などの自動車専用道路や鉄道などのこと。
	高次都市機能	都市機能とは、一般的には都市及びそこで営まれる人間社会を構成する主要な機能であり、例えば「居住機能」「工業・生産機能」「物流機能」「商業・業務機能」「行政機能」「文化・研究機能」「レクリエーション機能」などの都市的な機能をさす。高次都市機能とは、これら機能のうち日常生活の圏域を越えた広範な地域のたくさんの人々を対象にした、質の高いサービスを提供する機能のこと。

	語句	説明
さ	里山	居住地域の近くに広がり、薪炭用材や落葉の採取などを通じて、地域住民に継続的に利用されることにより、人々の生活と密接に結びつきながら維持管理されてきた森林。
	市街化区域	都市計画区域のうち、既に市街地が形成されている区域と、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域。
	市街化調整区域	市街化を抑制すべき区域。
	自然的土地利用	都市的土地利用以外の土地利用を総称したもの。農林業的土地利用に自然環境の保全を目的として維持すべき森林、原野等、水面、河川などの土地利用を加えたものをいう。
	市民農園	都市の住民等農業者以外の人々が農地を利用して農作業を行うことを通して、レクリエーションや児童の教育等の多彩な目的に利用される農園。
	集約型都市構造	様々な都市機能の集積を図る拠点を形成し、公共交通機関を軸にこれら拠点へのアクセスのしやすさが確保された都市の構造・姿をいう。
	将来フレーム	将来の枠組みのこと。広義では、行政の施策や民間の事業計画を定めるうえでの基本的な枠組みを意味する。また、本計画における「フレーム」とは、人口や土地利用区分面積の数値目標のことをいう。
	親水空間	河川、海岸、池、湖沼などにおいて「意図的」に水と親しむことを主目的とした空間。
	水源かん養	植物や土壌などが雨水を一時的に貯え水源の枯渇を防ぎ、併せて水流が一時に河川に集中して洪水が起こるのを防ぐこと。
た	多自然の川づくり	河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことをいう。
	地区計画制度	比較的小規模の地区を対象に、建築物の建築形態や道路・公園の配置等、地区の特性にふさわしい良好な街区を整備し、保全するための基準を定める制度。

	語句	説明
た	超高齢社会	超高齢社会とは、総人口の中で65歳以上の高齢者割合が21パーセントを超える社会になることをいう。ちなみに、その高齢者割合が7パーセントを超えると高齢化社会、さらに14パーセントを超えると高齢社会という。
	低炭素社会	二酸化炭素等の温室効果ガスの排出が気候に悪影響を及ぼさない水準まで抑制されると同時に、生活の豊かさを実感できる社会をいう。
	低・未利用地	土地利用がなされていないもの、又は個々の土地の立地条件に対して利用形態が社会的に必ずしも適切でないもの。
	東部丘陵	市東部における岩作丘陵、三ヶ峯丘陵、大草丘陵の丘陵地の総称。
	都市基盤	道路・鉄道、公園・緑地、上下水道、河川など、都市における生活や経済活動の基盤を形成する施設。
	都市公園	国や県、市町村が設置する公園又は緑地で、一般的には都市計画で定められた公園又は緑地をいう。都市公園の種類としては、街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、都市緑地、緑道等がある。
	都市的土地利用	住宅地、工業用地、事務所店舗用地、一般道路等、主として人工的施設による土地利用。
	届出制度	一定面積以上の土地取引をしたときは、国土利用計画法により知事等に届け出なければならない制度。
な	長久手ふれあい農園 たがやっせ	ふれあい・交流・体験の場としては、土いじりをしてみたい、楽しみとして農業をやりたいという人のために整備した市民農園。
	名古屋瀬戸道路	名古屋環状2号線と東海環状自動車道を結び、日進市、長久手市を経て瀬戸市に至る自動車専用道路。
	二次林	その土地本来の自然植生が、災害や人為によって破壊された後に発達した森林。
は	文教施設	学校、図書館等市民の教育、文化の向上に資する施設。
	ポテンシャル	潜在的な可能性のこと。
ま	緑	樹林地、草地、水辺地などのうち、宅地内の樹木・草花や、公園・広場などの施設または法律や条例による規制のない私有地の森林などの総称。
	目標年次	計画の最終目標を設定した年次。

	語句	説明
や	遊水機能	短時間の水量の急激な増加による洪水を防ぐために河川内またはその沿岸に設ける洪水調整のための機能。
	ユニバーサルデザイン	年齢や障がいの有無に関わらず、誰にでも使いやすい形に設計すること。
ら	ライフライン	日常生活においてなくてはならない電気、ガス、水道等の施設。
	リニモ（東部丘陵線）	地下鉄藤が丘駅～愛知環状鉄道八草駅へ至る中量軌道系の輸送システム。
	緑地	樹林地、草地、水辺地などのうち、公園や広場など、一般的に利用できる施設として確保されている土地の区域や法律、条例等に基づく制度によって、土地利用や開発などが制限されている土地の区域。